

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公表番号】特表 2007-514754 (P2007-514754A)
 【公表日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-021
 【出願番号】特願 2006-545478 (P2006-545478)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 33/24 (2006.01)
A 6 1 P 19/02 (2006.01)
A 6 1 P 29/00 (2006.01)
A 6 1 P 37/02 (2006.01)
A 6 1 P 21/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
A 6 1 P 19/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 33/24
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 29/00 1 0 1
 A 6 1 P 37/02
 A 6 1 P 21/00
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 19/10

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 7 月 6 日 (2007.7.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

炎症性関節炎およびリウマチ病を処置するための組成物であって、該組成物は、約 50 ng/ml ~ 7000 ng/ml の範囲内のガリウム血清中ガリウムレベルを提供する、治療有効量のガリウムを含み、かつ投与に適する、組成物。

【請求項 2】

前記炎症性関節炎が、関節リウマチ、強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、若年性関節リウマチ、ライター症候群および腸疾患に基づく関節炎から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記リウマチ病が、全身性エリテマトーデス、全身性硬化症および強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎、側頭動脈炎、脈管炎、多発性動脈炎、ウェーゲナー肉芽腫症ならびに混合結合組織病から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ガリウムが、酢酸ガリウム、炭酸ガリウム、クエン酸ガリウム、塩化ガリウム、フッ化ガリウム、ギ酸ガリウム、硝酸ガリウム、ガリウムオキシレート、酸化ガリウムおよび酸化ガリウム水和物、リン酸ガリウム、酒石酸ガリウム、ガリウム - ピリドキサルイソニコチノイルヒドラゾン、トリス (8 - キノリノラート) ガリウム (III)、3 - ヒドロ

キシ - 4 - ピロンの中性 3 : 1 ガリウム錯体、N - 複素環のガリウム (I I I) 錯体、ならびにポリエーテル酸のガリウム塩錯体から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記ガリウムが経口投与に適する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記ガリウムが、3 - ヒドロキシ - 4 - ピロンの中性 3 : 1 ガリウム錯体である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記ガリウムが、N - 複素環のガリウム (I I I) 錯体である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記ガリウムが、ポリエーテル酸のガリウム塩錯体である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 9】

パンス形成を予防するための組成物であって、治療有効量のガリウムを含む、組成物。

【請求項 10】

骨膜増殖を予防するための組成物であって、治療有効量のガリウムを含む、組成物。

【請求項 11】

軟骨損傷を予防するための組成物であって、治療有効量のガリウムを含む、組成物。

【請求項 12】

巨脾腫を予防するための組成物であって、治療有効量のガリウムを含む、組成物。

【請求項 13】

炎症性関節炎に起因する骨吸収を予防するための組成物であって、治療有効量のガリウムを含む、組成物。